公益社団法人日本補綴歯科学会　平成 27 年度
6 － 3 月期委員会活動報告

（平成 27 年 6 月 20 日～平成 28 年 3 月 31 日）

I.	はじめに	（理事長：松村　英雄）
II.	学術委員会	（委員長：大久保力廣）
III.	編集委員会	（委員長：水口　俊介）
IV.	JPR 編集委員会	（委員長：馬場　一美）
V.	財務委員会	（委員長：櫻井　　薫）
VI.	広報委員会	（委員長：末瀬　一彦）
VII.	医療問題検討委員会	（委員長：志賀　　博）
VIII.	診療ガイドライン委員会	（委員長：佐藤　博信）
IX.	教育問題検討委員会	（委員長：木本　克彦）
X.	専門医制度委員会	（委員長：鱒見　進一）
XI.	専門医認定委員会	（委員長：横山　敦郎）
XII.	社会連携委員会	（委員長：佐々木啓一）
XIII.	国際渉外委員会	（委員長：古谷野　潔）
XIV.	規程検討委員会	（委員長：大川　周治）
XV.	用語検討委員会	（委員長：南　　弘之）
XVI.	研究企画推進委員会	（委員長：矢谷　博文）
XVII.	倫理審査委員会	（委員長：小出　　馨）
XVIII.	利益相反委員会	（委員長：都尾　元宣）
XIX.	優秀論文賞推薦委員会	（委員長：市川　哲雄）
XX.	特別功労賞推薦委員会	（委員長：櫻井　　薫）

I．はじめに

公益社団法人日本補綴歯科学会　理事長　松村英雄

今期の日本補綴歯科学会は，専門医関係の委員会を分割し，研究企画推進委員会を復活させて，前々期に倣った委員会構成をもって活動を開始した．社会情勢の変化により，日本歯科医学会の多くの分科会に倫理審査委員会と利益相反委員会が設置された．学会機関誌への投稿，学術大会での報告においては，内容に応じた倫理審査，利益相反についての記述が求められる．

学会は平素の事業とともに，事務局の機能強化，会員に対するサービス向上，公益事業の新たな展開などに注力しており，本年度も継続的課題として取り組んでいる．委員会には経験者を多く委嘱し，ルーティンワークをさらに発展させていただくようお願いした．任期前半は前期からの引継事項も多く，その成果がこのたびの報告に含まれている．この報告は次の活動のための基礎資料となるものでもあり，平成 28 年度においては様々な事業が計画されている．

II．学術委員会活動報告

1．委員会構成

委 員 長：大久保力廣
副委員長：五味治徳
委　　員：池邉一典，上田貴之，隅田由香，武部　純，築山能大，永尾　寛，西村正宏，疋田一洋
幹　　事：佐藤洋平

2．活動状況

学術委員会を 6 回，プログラム委員会を 2 回（第 2 回プログラム委員会は 4 月）開催し，以下の活動を行った．

1）第 125 回学術大会企画準備について

（1）会期：平成 28 年（2016 年）7 月 8 日（金）～10 日（日）

(2) 会場：石川県立音楽堂，ANA クラウンプラザホテル金沢
(3) 主管校：大阪大学
(4) 大会長：前田芳信
(5) 準備委員長：権田知也
(6) 総演題数：245 演題（課題口演：9 演題，一般口演:67 演題，ポスター:160 演題，専門医ケースプレゼンテーション：9 演題）
(7) 学術企画
a. 教育講演 1：咬合を再考する
b. 教育講演 2：老年医学が目指す方向と歯科医療，補綴歯科治療への期待
c. シンポジウム 1：デジタルデンティストリー CAD/CAM の可能性と限界
シンポジウム 2：顎顔面補綴のノウハウを一般歯科治療に生かす
d. ミニシンポジウム 1：臨床咬合学入門
：日常補綴歯科臨床における咬合器の活用
ミニシンポジウム 2：補綴歯科治療における感染対策
e. 臨床リレーセッション 1：有床義歯臨床の疑問に答える
臨床リレーセッション 2，3：インターディシプリナリーデンティストリー
－補綴歯科専門医は他分野から何を求められているか－
セッション 2：口腔外科，矯正の立場から
セッション 3：歯周，歯内療法の立場から
f. 臨床スキルアップセミナー：スタートアップ・クラウンブリッジ
～補綴歯科治療における材料特性の活用～
g. 委員会セミナー：補綴歯科専門医研修プログラムはどうあるべきか
—欧米のプログラムに学ぶ—（教育問題検討委員会）
h. モーニングセッション：ファイバーポストによる適切な支台築造
i. イブニングセッション 1：トップジャーナルに採択される臨床研究に求められるものとは？
イブニングセッション 2：骨質研究がもたらす歯科補綴の治療イノベーション
イブニングセッション 3：顎顔面補綴治療がインプラントに求めるもの
イブニングセッション 4：CAD/CAM レジンクラウン，臨床で困っています ?!
j. 専門医研修単位認定セミナー：パーシャルデンチャーの印象と咬合を考える
k. 市民フォーラム：最後まで人間らしく生きるために　－口の機能は大切か？－
(8) 大会期間中に課題口演賞 9 演題ならびにポスター発表 160 演題を審査，集計し，課題口演優秀賞 3 演題，優秀ポスター賞（デンツプライシロナ：6 演題，カボデンタル賞：2 演題）の選考を行い，表彰式において理事長から授与する．
(9) プログラム・企画演題抄録集と，一般演題・ポスター抄録集を前回大会同様に分けることとした．印刷版としては，プログラム・企画演題抄録集のみを作成する．一般演題・ポスター抄録集は，学会員各位がホームページからダウンロードすることとした．

2) 日本歯科医学会平成 27 年度プロジェクト研究に関しては，残念ながら採択は得られなかった．

III. 編集委員会活動報告

1. 委員会構成

委 員 長：水口俊介
副委員長：皆木省吾
委　　員：石垣尚一，新谷明一，服部佳功，正木千尋，松山美和，山下秀一郎
幹　　事：金澤　学

2. 活動状況

委員会活動　編集委員会を 2 回（平成 27 年 7 月 30 日(木)，平成 28 年 1 月 18 日(木)），その他の編集作業，審議を適宜メール上で行った．

1) 7 巻 3 号（2015.7.10 発行）
依頼論文：8 編，原著論文：2 編，専門医症例報告：9 編＋前付・後付，広告　合計　106 頁
2) 7 巻 4 号について（2015.10.10 発行）
依頼論文：11 編，原著論文：2 編，専門医症例報告：8 編＋前付・後付，広告　合計 170 頁
3) 8 巻 1 号（2016.1.10 発行）
ポジションペーパー：1 編，依頼論文：10 編，専門医症例報告：12 編＋前付・後付，広告　合計 144 頁
4) 表紙，誌面レイアウト変更
8 巻 1 号より，表紙と誌面レイアウトが変更された．
5) 日本補綴歯科学会誌投稿の手引き，自己申告による COI 報告書，投稿用チェックリスト（原著・症例報告・技術紹介等用），ホームページにおける日本補綴歯科学会誌への論文投稿の書式が変更された．

6）査読者リストの更新
7）支部学術大会抄録集電子版の発刊に関しての協議
8）日補綴会誌編集状況について
平成 27 年 6 月から平成 28 年 3 月までの投稿論文数は，原著 7 編，症例報告 1 編，技術紹介 1 編であり，受理 3 編，査読中 2 編，取り下げ 1 編，返却 3 編である．

IV．JPR 編集委員会活動報告

1．委員会構成

委 員 長：馬場一美
副委員長：細川隆司
委　　員：石岡美香，江草　宏，加来　賢，重田優子，谷本安浩，笛木賢治，向山　仁，峯　篤史
幹　　事：小野康寛

2．活動状況

1）59 巻 2，3，4 号，60 巻 1 号の発刊
2）編集方針の決定と 2018 年までの企画論文の策定
JPR 投稿・査読状況（1 月～ 12 月，2015）
（1）総投稿数：365 本
（2）submit to 1st decision：3.9 週
（3）Reject rate：85％
3）フリーダウンロード（Free DL）論文の掲載
各号 2 論文，60 巻 1 号については全論文一年間 Free DL
年間ダウンロード回数：145,428 回（前年度 87,922 回）
4）オープンアクセスの導入準備
次年度からの学会負担 OA 論文の導入準備（9 本 / 年，予算化）
学会負担 OA 論文のライセンスはクリエイティブ・コモンズのシステムに準じ，著者の氏名，論文タイトルを表示し，かつ非営利目的であり元の論文を改変しないことを条件に自由に再配布することができる CC-BY-NC-ND とし，著者負担の OA 論文のライセンスは著者が選択できる．
5）JPR-PR 用資格素材ならびにロゴの作成
6）冊子体表紙ならびに構成の刷新
7）Reviewer System の再構築
（1）Statistical editor の追加採用
Dr. Mike John / The university of Minnesota, $100/ 件
（2）Reviewer 実績の公表とフィードバック
（3）AE の増員と再編成
（4）査読プロセスの再構築と合理化
8）投稿規定の改変と整備
ジャーナルの国際化を促す一環としての投稿規定全体の見直しと下記事項の検討
（1）COI をスタンダード版に置換し追加
（2）OA 論文の規定，ライセンス，料金等の表記
（3）EES 上の目次のシステム変更
（4）Green open access の詳細追記
（5）早見表の策定
（6）Shared-link の追記
9）JPR Best paper Award の設定
（1）JPR Best Paper Award 201x（Review article category）
（2）JPR Best Paper Award 201x（Original article category）
10）JPR アンバサダー通信の発信
Vol.1 ～ 4
11）トムソン・ロイター社へのメール配信サービスの委託
（1）Article Level Notice Service
a．表紙デザインの検討
b．配信論文 10 本の選定
（2）Web of Science Author Connect
12）Web of Science を利用した被引用状況の解析

V．財務委員会活動報告

1．委員会構成

委 員 長：櫻井　薫
副委員長：佐藤裕二
委　　員：飯田　崇
幹　　事：太田　緑

2．活動状況

1）学術大会および各支部会計報告を基にした収支計算書の作成（1 か月に 1 回）
2）第 124 回学術大会決算の検討および承認
3）第 125 回学術大会予算案の検討および承認
4）平成 27 年度補正予算案の作成
5）平成 28 年度支部予算案の検討
6）平成 28 年度収支予算案の作成（臨床統計集中セミナー開催費の検討を含む）
7）計 3 回の財務委員会（うち 1 回はメール会議）
8）公印の管理
9）各支部および委員会からの問い合わせへの回答

VI. 広報委員会活動報告

1. 委員会構成

委 員 長：末瀬一彦
副委員長：高橋　裕
委　　員：猪子芳美，越智守生，金村清孝，木本　統，小泉政幸，田地　豪，月村直樹，中村隆志，根本玲奈
幹　　事：谷岡款相

2. 活動状況

1）平成 27 年度第 1 回広報委員会の開催

平成 27 年 8 月 7 日に第 1 回広報委員会を開催した．

2）メールマガジンの発行

学会会員にタイムリーな話題提供を迅速に行う目的で，毎週 1 回メールマガジンを発行することとした．

平成 27 年 9 月 4 日（No1）から平成 28 年 3 月 31 日（No25）までに，毎週金曜日に 1 回合計 25 号を発行した．

3）学会ホームページの改訂，更新

平成 27 年 7 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日までに 115 件の更新を行った．

4）ニュースレター発行

平成 27 年 6 月 8 日から平成 28 年 3 月 31 日までに，合計 4 号を発行した．

掲載内容は下記のとおりであった．

(1) 平成 27 年 10 月号（No.56）

a. 受賞者の声
—平成 26 年度学会優秀論文賞
—第 124 回学術大会優秀賞

b. 第17回インド補綴学会Post Graduate Convention 講演記

(2) 平成 28 年 1 月号（No.57）

a. 支部学術大会報告
—九州支部学術大会
—中国・四国支部学術大会
—東海支部学術大会
—東北・北海道支部学術大会
—関西支部学術大会

VII. 医療問題検討委員会活動報告

1. 委員会構成

委 員 長：志賀　博
副委員長：田中昌博
委　　員：佐藤裕二，鈴木哲也，竹内義真，田上直美，冨山雅史，山口泰彦，山森徹雄
幹　　事：横山正起

2. 活動状況

委員会は 4 回開催し，必要に応じて適宜メール会議を実施し，以下のことを行った．

1）医療技術評価

(1) 平成 28 年度診療報酬改定用医療技術評価提案書について

a.「シェードテイキング」と「義歯床で被覆されたバー」の 2 件について，委員長と佐藤委員が厚生労働省とのヒアリングを行った．

b. 前期の本委員会が作成し，日本補綴歯科学会から提案した 10 技術中 6 技術（「シェードティキング」，「間接法におけるファイバーポストとコンポジットレジンコア併用による支台築造」，「レジン支台築造の印象採得」，「軟質裏装材による下顎総義歯の裏装」，「ブリッジ支台装置としての第一小臼歯レジン前装金属冠」，「大臼歯 CAD/CAM 冠」）が新規保険収載等の評価を行う優先度が高いと考えられる技術と評価された．

c. 前期の本委員会が作成に関わり，日本老年歯科学会から提出した「舌圧検査」と日本顎口腔機能学会から提出した「有床義歯咀嚼機能検査」が保険導入された．

d. 平成 28 年度診療報酬改定で保険導入された医療技術の中で，前期の本委員会が関わった 8 技術について，指針の作成の有無を検討し，「舌圧検査」，「ファイバーポスト」，「軟質裏装材」，「有床義歯咀嚼機能検査」の 4 技術の指針を作成することとした．

(2) 平成 30 年度診療報酬改定用医療技術評価提案書について

a. 平成 30 年度診療報酬改定用医療技術評価提案書作成にあたり，平成 28 年度医療技術評価提案書に対する意見交換を前期の本委員会委員と行った．また，今後取り上げる必要のある医療技術について検討も行った．

b. 医療技術評価提案書作成に際し，歯科医師会，歯保連，日本歯科医学会などと連携して作成していくこととした．

c. 新たな医療技術に関し，口腔内スキャナーについて山森委員，追加技術について富山委員と竹

内委員が検討することとした．

(3) 診療報酬改定関連セミナーについて

診療報酬改定関連セミナーについて 450 万円（1 支部ごとに 50 万円）の予算がついたことから，「ファイバーポスト」，「軟質裏装材」，「有床義歯咀嚼機能検査」の 3 技術について，講演内容と配布資料を作成し，統一した内容で行うこととした．なお，「ファイバーポスト」については，田中副委員長，山口委員，田上委員，「軟質裏装材」については，志賀委員長，佐藤委員，鈴木委員，「有床義歯咀嚼機能検査」については，志賀委員長と山口委員が作成することとした．

2) 歯学系学会社会保険委員会連合（歯保連）への参加

(1) 山森委員を推薦した．

(2) 現在歯保連試案は修正中であり，近日中に改訂版を発刊予定である旨の報告があった．

3) 日本歯科医師会社会保険疑義事項検討委員会への参加

佐藤委員（有床義歯）と田中副委員長（クラウンブリッジ）を推薦した．

4) 日本歯科医師会保険適用検討委員会委員について

鈴木委員（有床義歯）と末瀬前副委員長（クラウンブリッジ）を推薦した．

5) 医療問題関連

(1) 今後取り上げる必要のある医療問題について検討を継続することとした．

(2) 歯科技工士に関連について，多職種連携参入の可能性について，鈴木委員が検討することとした．

(3) CAD/CAM 冠の経過調査について，補綴物維持管理料の適用期間（装着 2 年後まで）での脱落に関する調査を行うこととした．

(4) 補綴関連技術のスクラップについて，竹内委員が実態を調査，検討することとした．

(5) 先進医療技術について，全委員で検討することとした．

(6) 選定療養の検討について，全委員で検討することとした．

(7) 在宅医療におけるインプラント上部構造のメインテナンス関連について，佐藤委員が検討することとした．

(8) チタンクラスプについて，鋳造機メーカーの現状を田上委員が調査・検討することとした．

VIII. 診療ガイドライン委員会

1. 委員会構成

委 員 長：佐藤博信
副委員長：藤澤政紀
委　　員：會田英紀，飯沼利光，尾澤昌悟，桑鶴利香，松香芳三，水口　一
幹　　事：松浦尚志

2. 活動状況

1) ブラキシズムの診療ガイドラインの策定

前年度からのブラキシズムの診療ガイドライン「睡眠時ブラキシズム患者に対する各種の検査について」の策定を継続した．前年度に行った内部評価を参考にガイドラインを部分修正し，日本顎口腔機能学会に外部評価を依頼した．

2) ガイドラインの改訂

(1)「接着ブリッジのガイドライン」

前年度に決定した推奨度などを参考に，まずガイドラインの草案を作成した．その後，ガイドライン草案に対して委員会内で内部評価を実施した．

(2)「リラインとリベースのガイドライン」

文献の予備検索を行った．システマティックレビューチームを作成し，クリニカルクエスチョン（CQ）の確定と文献のスクリーニングを行う予定である．

(3) ポジションペーパー

「下顎大臼歯欠損に対しインプラント支持固定性補綴装置による治療介入時に付与すべき咬合様式」を日本補綴歯科学会誌に投稿し，出版された（日補綴会誌 8：1-9，2016）．

(4) セカンダリーパブリケーション

「補綴歯科治療病名システムの信頼性と妥当性の検討」（日補綴会誌 5：281-290，2013）のセカンダリーパブリケーションとして，Journal of Prosthodontic Research に投稿した．

3) ガイドラインワークショップ等への参加

(1) 第 11 回診療ガイドライン作成ワークショップ基礎コース（水口委員）

(2) 第 18 回診療ガイドライン作成グループ意見交換会（佐藤委員長，飯沼委員，松浦幹事）

(3) Minds フォーラム 2016　診療ガイドライン：最新の世界の潮流と日本の医療の未来（桑鶴委員）

(4) 第12回診療ガイドライン作成ワークショップ
システマティックレビューコース（水口委員）

4) 症型分類のデータベース化

日本補綴歯科学会全体が症型分類の普及を目指す方向であり，その一方策として，症型分類のデータベース化を図り，日本補綴歯科学会ホームページへの掲載を目指してきた．大阪大学のREDCapシステムを利用して，種々検討を重ねたが，細かな設定の困難さや予算の問題から本システムによる導入を断念した．代わりにExcel形式でデータベース化を検討することとなった．専門医プレゼンテーション用に症型分類シートとマニュアルを専門医認定委員会と専門医制度委員会と連携してホームページに掲載した．

IX. 教育問題検討委員会

1. 委員会構成

委 員 長：木本克彦
副委員長：河相安彦
委　　員：石神　元，魚島勝美，河野文昭，田中順子
幹　　事：星　憲幸

2. 活動状況

1) 補綴歯科専門医研修プログラムの作成について

前委員会より補綴歯科専門医研修プログラムの作成指針を引き継ぎ，今期は，具体的なプログラムの作成について検討を進めている．その検討資料とし，第125回学術大会にて委員会セミナーを企画した．セミナーの内容は以下の通りである．

タイトル：補綴歯科専門医研修プログラムはどうあるべきか？－欧米のプログラムに学ぶ－

講師：熊谷　直大先生（米国における補綴専門医養成プログラムと認定制度）

鶴田　潤先生（歯科医学教育における専門継続研修，専門医制度とその動向―英国制度を中心に―）

2) 補綴学会会員に対する教育コンテンツ（ビデオ）の作成について

今期は，クラウン系：「正しい接着性レジンセメントの使用法」と有床系：「リライン」の２題の教育コンテンツ（ビデオ）を作製する．草案が出来上がり，撮影業者とビデオ製作中である．

3) 平成26年度版国家試験出題基準，歯科医学教授要綱（2007年改訂）および歯学教育モデルコアカリキュラム（平成22年度改訂版）のこれら3者の整合性に関しては【前委員会で確認済み】，再度本委員会で確認し，本学会からの意見として東京医科歯科大学のコアカリキュラム改訂作業担当へ提出した．

4)「医学教育モデル・コア・カリキュラム等の次期改訂に向けた調査･研究チーム（嶋田昌彦歯学チームリーダー／東京医科歯科大学）」より，日本歯科医学会事務局を通して各専門分科会へ改訂に係る意見調査の依頼があり，本委員会で意見の取りまとめを行った．本委員会からは概ね満足しているとの意見を提出した．また，不足している・充実させる必要がある項目については，以下の項目について追記した．

(1) 補綴前処置
(2) CAD/CAM補綴（デジタル処理）
(3) 補綴装置の装着・接着手技
(4) リベース（改床）
(5) 補綴治療におけるインプラント治療の位置づけ
(6) 地域医療，在宅医療内容の充実
(7) 歯科衛生士，医師との連携について

X. 専門医制度委員会

1. 委員会構成

委 員 長：鱒見進一
副委員長：窪木拓男
委　　員：小川　匠，越野　寿，村田比呂司，若林則幸
幹　　事：槙原絵理

2. 活動状況

1) 専門医制度委員会の開催

(1) 平成27年度第1回専門医制度委員会（メール会議）平成27年7月3日（金）
(2) 平成27年度第2回専門医制度委員会（メール会議）平成27年8月11日（火）
(3) 平成27年度第3回専門医制度委員会（メール会議）平成27年8月11日（火）
(4) 平成27年度第4回専門医制度委員会（メール会議）平成27年10月5日（月）
(5) 平成27年度第5回専門医制度委員会（メール会議）平成27年10月22日（木）
(6) 平成27年度第6回専門医制度委員会（メール会議）平成27年10月27日（火）
(7) 平成27年度第7回専門医制度委員会（メール会議）平成27年10月30日（火）
(8) 平成27年度第8回専門医制度委員会（メール

会議）平成 27 年 11 月 12 日（木）
(9) 平成 27 年度第 9 回専門医制度委員会（メール会議）平成 27 年 12 月 15 日（火）
(10) 平成 27 年度第 10 回専門医制度委員会（メール会議）平成 28 年 2 月 19 日（金）
2) 平成 28 年度公益社団法人日本補綴歯科学会第 2 回補綴歯科臨床研鑽会
「プロソ '16」開催準備
テーマ：補綴装置による機能回復を目指して
会期：2016 年 12 月 10 日（土），11 日（日）
会場：ベルサール新宿セントラルパーク
会費：無料
シンポジウム 1「パーシャルデンチャーによる機能回復」
座長：若林則幸，村田比呂司
講師：鳥巣哲朗（長崎大），依田信裕（東北大），月村直樹（日本大），笛木賢治（医科歯科大）
シンポジウム 2「オーバーデンチャーによる機能回復」
座長：窪木拓男，鱒見進一
講師：中村好徳（愛院大），兒玉直紀（岡山大），和田誠大（大阪大），中居伸行（関西支部）
シンポジウム 3「コンプリートデンチャーによる機能回復」
座長：村田比呂司，越野　寿
講師:松田謙一（大阪大),金澤　学（医科歯科大），新保秀仁（鶴見大），川西克弥（北医療大）
シンポジウム 4「特殊補綴装置による機能回復」
座長：鱒見進一，小川　匠
講師：堀　一浩（新潟大），槙原絵理（九歯大），隅田由香（医科歯科大），重田優子（鶴見大）
3) 専門医多肢選択試験の準備（125 回学術大会時）
平成 28 年 7 月 8 日（金）15：00 〜石川県立音楽堂にて開催予定の専門医多肢選択試験の問題作成を行った.
4) 学術大会における専門医研修単位認定セミナーの開催
第 124 回学術大会における専門医研修認定セミナー
(1) 臨床リレーセッション 2（専門医研修単位認定セミナー）
「要介護高齢者の食を守るために考える：補綴治療を始める前に考えること」
座長：服部佳功（東北大），池邉一典（大阪大）
講師：矢花渉史（農林水産省），菊谷　武（日歯大），吉田光由（広島市立リハビリテーション病院）
(2) 専門医研修単位認定セミナー
「全部床義歯補綴の統一見解」
座長：水口俊介（医歯大）
講師：松田謙一（大阪大），鈴木哲也（医歯大），市川哲雄（徳島大）
5) 支部における専門医研修会の開催
(1) 東北・北海道支部　平成 27 年 10 月 24 日（土）
(2) 関越支部　平成 28 年 1 月 16 日（土）
(3) 東京支部　平成 28 年 1 月 31 日（日）
(4) 西関東支部・東関東支部　平成 28 年 1 月 9 日（土）
(5) 関西支部　平成 28 年 1 月 31 日（日）

XI. 専門医認定委員会

1. 委員会構成

委 員 長：横山敦郎
副委員長：佐藤　亨
委　　員：武部　純，小野高裕，猪野照夫，菅沼岳史，中村善治，岩堀正俊，高橋一也，田地　豪，村田比呂司
幹　　事：坂口　究

2. 活動状況

1) 専門医認定委員会の開催
(1) 平成 27 年度第 2 回専門医認定委員会　平成 27 年 10 月 9 日（金）
(2) 平成 27 年度専門医認定委員会（第 1 回メール会議）平成 27 年 7 月 21 日〜 8 月 5 日
(3) 平成 27 年度専門医認定委員会（第 2 回メール会議）平成 27 年 8 月 13 日〜 22 日
(4) 平成 27 年度専門医認定委員会（第 3 回メール会議）平成 27 年 8 月 17 日〜 25 日
(5) 平成 27 年度専門医認定委員会（第 4 回メール会議）平成 27 年 11 月 11 日〜 18 日
(6) 平成 27 年度専門医認定委員会（第 5 回メール会議）平成 27 年 12 月 9 日〜 18 日
(7) 平成 27 年度専門医認定委員会（第 6 回メール会議）平成 27 年 12 月 25 日〜平成 28 年 1 月 8 日
(8) 平成 27 年度専門医認定委員会（第 7 回メール会議）平成 28 年 2 月 14 日〜 18 日
(9) 平成 27 年度専門医認定委員会（第 8 回メール会議）平成 28 年 3 月 17 日〜 22 日
2) 委員会構成の変化に伴う規程，規則，細則の変更

3）専門医関係の各種様式等の変更
4）「日本補綴歯科学会専門医症例報告論文」投稿の手引きの変更
5）専門医申請ケースプレゼンテーション：20 題
（1）九州支部学術大会　4 題
（2）関西支部学術大会　3 題
（3）東京支部学術大会　4 題
（4）西関東・東関東支部合同学術大会　6 題
（5）関越支部学術大会　3 題
6）専門医，指導医，終身指導医ならびに認定研修機関の新規並びに更新の認定
新規専門医 9 名，新規指導医 12 名，新規終身指導医 5 名，新規認定研修機関（甲）1 機関を認定し，専門医 95 名，認定研修機関（乙）1 機関の更新を認定した．
7）専門医症例報告査読
平成 27 年度 6 月 20 日以降に投稿された 23 編の症例報告論文を査読した．尚，ケースプレゼンテーションにおける 2 名の審査委員が査読を担当する査読者 2 名体制での査読方法を継続している．

XII．社会連携委員会

1．委員会構成

委 員 長：佐々木啓一
副委員長：津賀一弘
委　　員：鈴木　基，高津匡樹，吉岡　文
幹　　事：小川　徹

2．活動状況

メール会議を含み，8 回の委員会を行った．各支部および第 125 回の学術大会における市民フォーラムおよび生涯学習公開セミナーのテーマ，講師・座長の選定について協議を行った．公益法人化した日本補綴歯科学会としては，公益事業の充実が強く求められるため，市民フォーラム，生涯学習公開セミナーをはじめ社会貢献活動の積極的な取り組みが求められているところである．そのため，学会として社会へ発信する体制を強調するため，講演の座長・講師については，原則として学会会員とすることを留意して選定を行った．本委員会としては，一般市民に対し「市民フォーラム」を通して，歯科医師会会員等一般歯科医に対しては「生涯学習公開セミナー」を通し，歯科に関する様々な情報提供を，各支部と連携を取りながら行った．

平成 27 年度の実施事業は以下の通りである．

1）生涯学習公開セミナーの開催

東北・北海道支部
（1）日時：平成 27 年 10 月 25 日（日）
（2）場所：岩手県歯科医師会館 8020 プラザ
（3）テーマ：「CAD/CAM がつくる近未来補綴医療」
（4）座長：越智守生（北医療大）
（5）講師：梅原一浩（東北・北海道支部），馬場一美（昭和大），千葉豊和（東北・北海道支部）

関越支部
（1）日時：平成 27 年 10 月 25 日（日）
（2）場所：新潟県歯科医師会館
（3）テーマ：ハイブリッドレジンでの CAD/CAM 冠の対応
（4）座長：藤井規孝（新潟大）
（5）講師：小野高裕（新潟大），堀　一浩（新潟大）

東関東支部・西関東支部
（1）日時：平成 28 年 1 月 10 日（日）
（2）場所：パシフィコ横浜
（3）テーマ：「震災から学ぶ歯科補綴学」
（4）座長：木本克彦（神歯大）
（5）講師：佐々木啓一（東北大），中久木康一（医歯大），槻木恵一（神歯大）

東京支部
（1）日時：平成 27 年 11 月 29 日（日）
（2）場所：東京医科歯科大学　M&D タワー　鈴木章夫記念講堂
（3）テーマ：「金属アレルギー患者のメタルフリー修復について　新しい治療材料と治療法について」
（4）座長：三浦宏之（医歯大）
（5）講師：松村光明（医歯大）

東海支部
（1）日時：平成 27 年 10 月 11 日（日）
（2）場所：松本中央公民館（Mウイング文化センター）
（3）テーマ：「歯・咬合の感覚異常とどう向き合うか」
（4）座長：倉澤郁文（松歯大）
（5）講師：松香芳三（徳島大），豊福　明（医歯大）

関西支部
（1）日時：平成 27 年 11 月 8 日（日）
（2）場所：兵庫医療大学　オクタホール
（3）テーマ：「金属アレルギーの臨床病態と歯科的対応法」
（4）座長：田中順子（大歯大）
（5）講師：松香芳三（徳島大），渡邉　恵（徳島大），高　永和（関西支部）

中国・四国支部
（1）日時：平成 27 年 9 月 6 日（日）

(2) 場所：くにびきメッセ
(3) テーマ：「高齢者の食について考えよう」
(4) 座長：河野文昭（徳島大），二川浩樹（広島大）
(5) 講師：栢下　淳（県立広島大），鉄穴森陽子（鈴峯女子短期大），田地　豪（広島大），河野文昭（徳島大）

九州支部
(1) 日時：平成 27 年 8 月 23 日（日）
(2) 場所：九州歯科大学　講堂
(3) テーマ：「高齢者の在宅歯科医療（とくに補綴治療）における，医師，看護師，介護福祉士等との多職種連携の留意点について」
(4) 座長：佐藤博信（福歯大）
(5) 講師：岸本裕充（兵庫医科大），米永一理（東京大学）

2) 市民フォーラムの開催

平成 27 年度は，市民フォーラムを学会主催として 7 回開催した．

(1) 平成 27 年 8 月 23 日（日）
a. 会場：九州歯科大学　本館 3 階　301 講義室
b. 主催：（公社）日本補綴歯科学会　九州支部
c. テーマ：「睡眠時無呼吸症候群に関する内科と歯科の連携について」
d. 座長：鱒見進一（九歯大）
e. 講師：槙原絵理（九歯大）

(2) 平成 27 年 9 月 5 日（土）
a. 会場：くにびきメッセ
b. 主催：（公社）日本補綴歯科学会　中国四国支部
c. テーマ：「口腔機能とリハビリテーション」
d. 座長：渡邊公人（中国・四国支部）
e. 講師：吉川浩郎（島根県松江市開業），津賀一弘（広島大）

(3) 平成 27 年 10 月 10 日（土）
a. 会場：松本中央公民館（Mウイング文化センター）
b. 主催：（公社）日本補綴歯科学会　東海支部
c. テーマ：「お口からはじめる健康寿命」
d. 座長：倉澤郁文（松歯大）
e. 講師:倉澤郁文（松歯大），小笠原　正（松歯大）

(4) 平成 27 年 11 月 3 日（火）
a. 会場：岩手県歯科医師会館 8020 プラザ
b. 主催：（公社）日本補綴歯科学会東北・北海道支部
c. テーマ：「インプラント治療の現在と未来」
d. 座長：近藤尚知（岩手医大）
e. 講師：山森徹雄（奥羽大）

(5) 平成 27 年 11 月 28 日（土）
a. 会場：東京医科歯科大学　歯学部特別講堂
b. 主催：（公社）日本補綴歯科学会東京支部
c. テーマ：「白い歯の最前線」
d. 講師：吉田惠一（医歯大）

(6) 平成 28 年 1 月 16 日（土）
a. 会場：ホテルメトロポリタン高崎
b. 主催：（公社）日本補綴歯科学会関越支部
c. テーマ：「認知症と訪問歯科」
d. 座長：小野高裕（新潟大）
e. 講師：白野美和（日歯大新潟）

(7) 平成 28 年 2 月 8 日（月）
a. 会場：大阪市中央公会堂
b. 主催：（公社）日本補綴歯科学会関西支部
c. テーマ：「おいしさを提供する補綴歯科」
d. 座長：田中順子（大歯大）
e. 講師：田中昌博（大歯大）

XIII. 国際渉外委員会

1. 委員会構成

委 員 長：古谷野　潔
副委員長：澤瀬　隆
委　　員：大久保力廣，小見山道，近藤尚知，馬場一美，矢谷博文
幹　　事：荻野洋一郎

2. 活動状況

日本補綴歯科学会の活動の海外への広報ならびに海外の補綴学会・関連学会との交流の促進を行った．委員会は 2 回のメール会議にて協議を行った．

1) インド補綴学会からの研修受け入れ

Name	Gender	Professor	University
DR.HIMANSHI AGGARWAL	Female	Prof. Taniguchi	Tokyo Medical and Dental University
DR.KAUSHAL KISHORE AGARWAL	Male	Prof. Okazaki	Osaka Dental University
DR.ANSHUL CHUGH	Male	Prof. Baba	Showa University
DR.SIDDHARTH GUPTA	Male	Prof. Uoshima	Niigata University
DR.ASHWIN RAGHU-NANDAN MYSORE	Male	Prof. Ichikawa	Tokushima University
DR.RAMESH SONI	Male	Prof. Ohkubo	Tsurumi University

2）EPA，ICP，IPS，PCSP，GNYAP，APS への参加
上記学会に国際渉外委員が参加し，学術交流を行った．
EPA（September 3-5, Prague, Czech Republic），PCSP（June 24-27，Utah，USA）では学術交流協定の調印式が行われた．
IPS においては IPS 17th PG Convention（July, 10-12, Nagpur, India）では馬場委員が招待講演を行い，IPS 43rd Conference（December, 4-6, Hyderabad, India）では近藤委員を含めた 3 名の招待講演者を選定した．
ICP（September, 17-20，Seoul，Korea）においては，本会より 5 名の会員が招待講演を行った．

3）IJP-JPS Workshop for Young Prosthodontic Educators 開催に関する協議
IJP 主催で行われてきた Workshop for Young Prosthodontic Educators の日本での開催に関し，Dr. Zarb より依頼があったため，本件に関し，委員会での協議を行い，2016 年 11 月に京都で開催することを決定した．

XIV．規程検討委員会

1．委員会構成

委 員 長：大川周治
副委員長：小野高裕
委　　員：小泉寛恭，中本哲自，古屋純一，吉川峰加
幹　　事：岡本和彦

2．活動状況

1）委員会開催
（1）第 1 回（メール会議）：平成 27 年 6 月 24 日（水）～平成 27 年 7 月 1 日（水）
（2）第 2 回（メール会議）：平成 27 年 7 月 7 日（火）～平成 27 年 7 月 14 日（火）
（3）第 3 回（メール会議）：平成 27 年 9 月 28 日（月）～平成 27 年 10 月 9 日（金）
（4）第 4 回（メール会議）：平成 27 年 11 月 2 日（月）～平成 27 年 11 月 20 日（金）
平成 27 年 11 月 27 日（金）～平成 27 年 11 月 30 日（月）（追加審議）
（5）第 5 回規程検討委員会：平成 28 年 2 月 29 日
前期委員会からの引き継ぎ事項の再確認，各規程・規則の制定・改正案，および平成 28 年度の活動方針について協議を行った．

2）制定した規程
（1）23 専門医認定委員会規程（平成 27 年 7 月 31 日制定）
（2）30 研究企画推進委員会規程（平成 27 年 7 月 31 日制定）

3）改正した規程，規則，細則および申し合わせ
（1）5 代議員制度運営委員会規程（平成 27 年 5 月 29 日改正）
（2）6 支部規程（平成 27 年 7 月 31 日改正）
（3）9 経理処理規程（平成 27 年 12 月 11 日改正）
（4）12 表彰制度規程（平成 27 年 12 月 11 日改正）
（5）16 JPR 編集委員会規程（平成 27 年 7 月 31 日改正）
（6）22 専門医制度委員会規程（平成 27 年 7 月 31 日改正）
（7）24 社会連携委員会規程（平成 27 年 7 月 31 日改正）
（8）25 生涯学習公開セミナー開催に関する申し合わせ（平成 27 年 5 月 29 日改正）
（9）26 市民フォーラム開催に関する申し合わせ（平成 27 年 5 月 29 日改正）
（10）31 倫理審査委員会規程（平成 27 年 7 月 31 日改正）
（11）37 事務処理規程（平成 27 年 7 月 31 日改正）
（12）39 次々期理事長候補適任者選挙規則（平成 27 年 5 月 29 日改正）
（13）40 表彰関連経費規則（平成 27 年 12 月 11 日改正）
（14）45 専門医制度規則（平成 27 年 7 月 31 日改正）
（15）46 専門医制度施行細則（平成 27 年 7 月 31 日改正）
（16）46-2 広告開示発足時における専門医制度規則の措置に関する申し合わせ（平成 27 年 7 月 31 日改正）
（17）48 投稿規程（平成 27 年 7 月 31 日改正）
（18）51 会議に係る交通費，宿泊費等に関する内規（平成 27 年 5 月 29 日改正）
（19）52 慶弔に関する内規（平成 27 年 5 月 29 日改正）
（20）53 シンボルマーク等に関する内規（平成 27 年 5 月 29 日改正）

4）廃止した規程
（1）29 疫学調査委員会規程（平成 27 年 6 月 20 日廃止）

5）改正した支部規則
（1）58 東北・北海道支部（平成 27 年 10 月 25 日改

正）
(2) 59 関越支部（平成 28 年 1 月 16 日改正）
(3) 60 東関東支部（平成 27 年 2 月 22 日改正）
(4) 62 西関東支部（平成 28 年 1 月 10 日改正）
(5) 64 関西支部（平成 27 年 11 月 8 日改正）
(6) 66 九州支部（平成 27 年 8 月 23 日改正）

XV. 用語検討委員会

1. 委員会構成

委 員 長：南　弘之
副委員長：黒岩昭弘
委　　員：岡崎定司，川口智弘，鬼原英道，古地美佳
幹　　事：村原貞昭

2. 活動状況

医歯薬出版「歯科補綴学専門用語集」の編集担当者と今後の編集方針について打ち合わせを行った．

1)「歯科補綴学専門用語集」第 5 版（次期改定）への新規収載候補用語および削除候補用語についての検討を行った．
2)「歯科補綴学専門用語集」の英語表記について，The Journal of Prosthetic Dentistry の The Glossary of Prosthodontic Terms 8th Edition（GPT8）との対比作業を行い，第 5 版（もしくは第 4 版増刷時）に対比結果を収載するためのデータ蓄積を行った．

XVI. 研究企画推進委員会

1. 委員会構成

委 員 長：矢谷博文
副委員長：玉置勝司
委　　員：鮎川保則，大野　彩，菊谷　武，権田知也，菅沼岳史，前川賢治
幹　　事：石垣尚一

2. 活動状況

研究企画推進委員会を 4 回（平成 27 年 10 月 1 日，平成 27 年 11 月 6 日，平成 27 年 12 月 21 日，平成 28 年 1 月 25 日），学術委員会との合同シンポジウム打ち合わせ会を 1 回（平成 28 年 2 月 21 日）開催し，適宜メール会議にて審議を行い，以下の活動を行った．

1) 平成27年度草津調査(地域在住高齢者包括検診「草津にっこり検診」）に参加
(1) 実施日：平成 27 年 7 月 6 日～ 10 日
(2) 参加者：河相安彦（日大松戸），菅沼岳史（昭和大），梅木賢人（日大松戸），一色ゆかり（神歯大）
2) 平成 27 年度研究企画推進委員会・学術委員会合同シンポジウム（通算 3 回目）の開催
(1) 事業名称
公益社団法人　日本補綴歯科学会　主催
平成 27 年度　研究企画推進委員会・学術委員会合同シンポジウム
歯科補綴学が担う口腔の健康と健康長寿　－明るい超高齢社会の実現－
東京都健康長寿医療センターとの共同研究企画の募集にあたって
(2) 開催日時
平成 28 年 2 月 21 日（日）13：00 ～ 17：00
(3) 開催場所
昭和大学歯科病院 1 号棟 6 階臨床講堂
(4) 参加者数
52 名（副理事長 1 名, 研究企画推進委員会 8 名, 学術委員会 8 名，会員 34 名，非会員（取材：クインテッセンス出版）1 名）
(5) 座長
矢谷博文（研究企画推進委員会委員長，大阪大学）
大久保力廣（学術委員会委員長，鶴見大学）
(6) 講師
小野高裕（新潟大学大学院 医歯学総合研究科 包括歯科補綴学分野 教授）
「咀嚼能力のバイオマーカーとしての意味を探る－吹田研究より」
池邉一典（大阪大学大学院歯学研究科 顎口腔機能再建学講座 有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野准教授）
「口腔機能の維持は介護予防に貢献するか？：SONIC 研究より」
安細敏弘（九州歯科大学 地域健康開発歯学分野 教授）
「福岡 8020 調査研究のアウトカムと課題」
新開省二（地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所 副所長）
「疫学調査における歯科の可能性～群馬県草津町での調査から～」
玉置勝司（神奈川歯科大学　顎咬合機能回復補綴医学 教授）
「公益社団法人日本補綴歯科学会が取り組む国

民の健康長寿に寄与する臨床疫学調査の経緯とこれから」

3）プロジェクト研究費公募用テーマ案３件の提出

4）地方独立行政法人　東京都健康長寿医療センターとの共同研究「高齢者の歯科口腔・嚥下機能がQOL及び健康余命に及ぼす影響」の研究企画公募の準備

XVII. 倫理審査委員会

1. 委員会構成

委 員 長：小出　馨
副委員長：玉置勝司
委　　員：櫻井　薫，篠原光代，正岡直樹，柴崎栄一
幹　　事：佐藤利英

2. 活動状況

平成27年6月20日～平成28年3月31日の間に，対象となる事例は発生していない．

1）「研究倫理を語る会」への参加報告

第１回「研究倫理を語る会」（2015-12-12，会場：東京医科歯科大学）に参加し，医学系研究に関連のある多方面からの様々な情報提供と意見交換がなされた中で，「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」として以下の事項を確認した．

(1) 社会的および学術的な意義を有する価値ある研究であること．
(2) 研究分野の特性に応じた科学的合理性を確保し，適正な手段と手順を踏まえて研究計画が立案させていること．
(3) 研究対象者への負担並びに予測されるリスクおよび利益の統合的評価がなされており，研究目的に照らして過度な負担を被験者に課していないこと．研究対象者の負担やリスクの要件には，時間，経済的損失，社会的立場なども含まれる．
(4) 独立かつ公平な立場に立った倫理審査委員会による審査をうけ，承認されていること．
(5) 研究対象者へ事前に十分な説明がなされ，研究対象者の理解と自由意思による同意の上で，研究に参加していること．
(6) 社会的に弱い立場にあり，意志表明をすることが難しい研究対象者に対して，特別な配慮がなされていること．
(7) 研究対象者の個人情報等が保護されていること．
(8) 研究の質および信頼性，ならびに透明性を確保する措置が取られていること．

XVIII. 利益相反委員会

1. 委員会構成

委 員 長：都尾元宣
副委員長：祇園白信仁
委　　員：市川哲雄，大川周治，柴崎栄一
幹　　事：岩堀正俊

2. 活動状況

平成27年度に開催された理事会・委員長会において利益相反に関する事項について各委員にメールにて連絡を行った．

また，本委員会は利益相反状態にある本学会会員（主に開業医，勤務医）からの質問，要望への対応をおこない，当該者からの申し出があった時点でその旨を事務局あるいは総務から通知を受けて委員会を開催する．現在までにその事例は発生していない．

XIX. 優秀論文賞推薦委員会

1. 委員会構成

委 員 長：市川哲雄
副委員長：櫻井　薫
委　　員：大久保力廣，水口俊介，馬場一美，大川周治

2. 活動状況

平成27年度優秀論文賞受賞候補者の選考について

平成28年2月3日に委員会を開催した．規程に基づき検討した結果，学会論文賞候補者３名，中堅優秀論文賞候補者１名，特定推進研究優秀論文賞候補者１名，奨励論文賞候補者３名を選考して理事長に推薦し，平成27年度公益社団法人日本補綴歯科学会第２回理事会（平成28年3月28日開催）において承認された．

【学会論文賞】

1）櫻井　薫（東京歯科大学）
山田将博（東北大学）
「Retrospective clinical outcome of nanopolymorphic crystalline hydroxyapatite-coated and anodic oxidized titanium implants for 10 years. Journal of Prosthodontic Research 2015；59：62-70.」

2）川良美佐雄（日大松戸）
「Rheological properties of elastomeric

impression materials for selective pressure impression technique. Journal of Prosthodontic Research 2015；59：254-261.」

【中堅優秀論文賞】

1）村上　格（鹿児島大）

「Dry mouth and denture plaque microflora in complete denture and palatal obturator prosthesis wearers. Gerodontology 2015；32：188-194.」

【特定推進研究優秀論文賞】

1）末永華子（東北大）

「Mechanobiological bone reaction quantified by positron emission tomography. Journal of Dental Research 2015；94：738-744.」

【奨励論文賞】

1）大城和可奈（九州大）

「Effects of $CaCl_2$ hydrothermal treatment of titanium implant surfaces on early epithelial sealing. Colloids and Surfaces B: Biointerfaces 2015；131：141-147.」

2）佐藤雅介（明海大）

「Electromyogram biofeedback training for daytime clenching and its effect on sleep bruxism. Journal of Oral Rehabilitation 2015；42：83-89.」

3）久留島悠子（大阪大）

「Influence of genetic and environmental factors on oral diseases and function in aged twins. Journal of Oral Rehabilitation 2015；42：49-56.」

XX. 特別功労賞推薦委員会

1. 委員会構成

委 員 長：櫻井　薫
副委員長：市川哲雄
委　　員：川良美佐雄，志賀　博，大久保力廣，大川周治

2. 活動状況

平成 27 年度日本補綴歯科学会特別功労賞推薦委員会を平成 28 年 2 月 3 日に開催し，資料をもとに審議の結果，新谷明喜会員およびマニー株式会社を候補者として全会一致で選出し，所定の書類を添えて，理事長に推薦し，平成 27 年度公益社団法人日本補綴歯科学会第 2 回理事会（平成 28 年 3 月 28 日開催）において承認された．

公益社団法人 日本補綴歯科学会　役員・委員会委員一覧

（任期：平成 27 年 6 月 20 日～平成 29 年 5 月または 6 月に開催予定の定時総会の終結の時）

理 事 長：松村英雄
副理事長：市川哲雄（次期理事長候補者）
副理事長：財務　櫻井　薫
常務理事：総務　川良美佐雄
常務理事：医療問題検討　志賀　博
理　　事：学術　大久保力廣
理　　事：編集　水口俊介
理　　事：JPR 編集　馬場一美
理　　事：広報　末瀬一彦
理　　事：診療ガイドライン　佐藤博信
理　　事：教育問題検討　木本克彦
理　　事：専門医制度　鱒見進一
理　　事：専門医認定　横山敦郎
理　　事：社会連携　佐々木啓一
理　　事：国際渉外　古谷野　潔
理　　事：規程検討　大川周治
理　　事：用語検討　南　弘之
理　　事：研究企画推進　矢谷博文
理　　事：倫理審査　小出　馨
理　　事：利益相反　都尾元宣
監　　事：小宮山彌太郎
監　　事：二川浩樹
支 部 長：近藤尚知（東北・北海道）
藤井規孝（関越）
河相安彦（東関東）
馬場一美（東京）
小川　匠（西関東）
倉澤郁文（東海）
田中昌博（関西）
近藤康弘（中国・四国）
細川隆司（九州）
理事長幹事：小峰　太
総 務 幹 事：飯田　崇
支部長会幹事：渡邊　恵

委員会委員

学術委員会
委 員 長　大久保力廣　　幹事　佐藤洋平
副委員長　五味治徳
委　　員　池邉一典，上田貴之，隅田由香，武部　純，築山能大，永尾　寛，西村正宏，疋田一洋

編集委員会
委 員 長　水口俊介　　幹事　金澤　学
副委員長　皆木省吾
委　　員　石垣尚一，新谷明一，服部佳功，正木千尋，松山美和，山下秀一郎

JPR 編集委員会
委 員 長　馬場一美　　幹事　福西美弥
副委員長　細川隆司
委　　員　石岡美香，江草　宏，加来　賢，重田優子，谷本安浩，笛木賢治，向山　仁，峯　篤史

財務委員会
委 員 長　櫻井　薫　　幹事　太田　緑
副委員長　佐藤裕二
委　　員　飯田　崇

広報委員会
委 員 長　末瀬一彦　　幹事　谷岡款相
副委員長　髙橋　裕
委　　員　猪子芳美，越智守生，金村清孝，木本　統，小泉 政幸，田地　豪，月村直樹，中村隆志，根本怜奈

医療問題検討委員会
委 員 長　志賀　博　　幹事　横山正起
副委員長　田中昌博
委　　員　佐藤裕二，鈴木哲也，竹内義真，田上直美，冨山雅史，山口泰彦，山森徹雄

診療ガイドライン委員会
委 員 長　佐藤博信　　幹事　松浦尚志
副委員長　藤澤政紀
委　　員　會田英紀，飯沼利光，尾澤昌悟，桑鶴利香，松香芳三，水口　一

教育問題検討委員会
委 員 長　木本克彦　　幹事　星　憲幸
副委員長　河相安彦
委　　員　石神　元，魚島勝美，河野文昭，田中順子

専門医制度委員会
委 員 長　鱒見進一　　幹事　槙原絵理
副委員長　窪木拓男
委　　員　小川　匠，越野　寿，村田比呂司，若林則幸

専門医認定委員会
委 員 長　横山敦郎　　幹事　坂口　究
副委員長　佐藤　亨
委　　員　金村清孝（東北・北海道），小野高裕（関越），猪野照夫（東関東），菅沼岳史（東京），中村善治（西関東），新村弘子（東海），高橋一也（関西），大倉一夫（中国・四国），高橋　裕（九州）

社会連携委員会
委 員 長　佐々木啓一　　幹事　小川　徹
副委員長　津賀一弘
委　　員　鈴木　基，高津匡樹，吉岡　文

国際渉外委員会
委 員 長　古谷野　潔　　幹事　荻野洋一郎
副委員長　澤瀬　隆
委　　員　大久保力廣，小見山　道，近藤尚知，馬場一美，矢谷博文

規程検討委員会
　委 員 長　大川周治　　幹事　岡本和彦
　副委員長　小野高裕
　委　　員　小泉寛恭，中本哲自，古屋純一，吉川峰加

用語検討委員会
　委 員 長　南　弘之　　幹事　村原貞昭
　副委員長　黒岩昭弘
　委　　員　岡崎定司，川口智弘，鬼原英道，古地美佳

研究企画推進委員会
　委 員 長　矢谷博文　　幹事　石垣尚一
　副委員長　玉置勝司
　委　　員　鮎川保則，大野　彩，菊谷　武，権田知也，菅沼岳史，前川賢治

倫理審査委員会
　委 員 長　小出　馨　　幹事　佐藤利英
　副委員長　櫻井　薫
　委　　員　市川哲雄，篠原光代，柴崎栄一，正岡直樹

利益相反委員会
　委 員 長　都尾元宣　　幹事　岩堀正俊
　副委員長　祇園白信仁
　委　　員　市川哲雄，大川周治，柴崎栄一

平成 27･28 年度　公益社団法人日本補綴歯科学会代議員一覧

＜東北・北海道支部＞

會田　英紀	赤川　安正	芦田　眞治	上田　康夫	江草　　宏	近江谷尚紀	奥山　弥生
越智　守生	菊池　雅彦	鬼原　英道	越野　　寿	児玉　厚三	小林　國彦	小山　重人
近藤　尚知	齋藤　正恭	佐々木啓一	鈴木　卓哉	鈴木　　基	清野　晃孝	関根　秀志
高道　　理	田中　義博	坪井　明人	中北　芳伸	服部　佳功	疋田　一洋	舞田　健夫
松田　　葉	三嶋　　顕	山口　泰彦	山本　　秀	山森　徹雄	横山　敦郎	（34 名）

＜関越支部＞

浅沼　直樹	荒井　良明	魚島　勝美	宇野　清博	小野　高裕	加来　　賢	黒川　裕臣
小出　　馨	佐藤　利英	藤井　規孝	堀　　一浩	渡邉　文彦		（12 名）

＜東関東支部＞

會田　雅啓	淺野　　隆	飯島　守雄	伊藤　誠康	猪野　照夫	岩瀬　直樹	岩田　昌久
大川　周治	大久保昌和	岡根　秀明	岡本　和彦	金谷日出夫	河相　安彦	川良美佐雄
木本　　統	小林　　平	小見山　道	鈴木　浩司	関　　雅寛	成田　紀之	野露　浩正
藤澤　政紀	森　　宏樹	若見　昌信				（24 名）

＜東京支部＞

秋山　仁志	荒川　一郎	飯島　裕之	飯沼　利光	石上　友彦	石崎　　憲	今村　嘉宣
岩佐　文則	上田　貴之	大神浩一郎	大谷　賢二	大山　哲生	尾関　雅彦	乙丸　貴史
桟　　淑行	祇園白信仁	菊地　康記	北川　　昇	小池　麻里	小泉　寛恭	小林健一郎
小峰　　太	五味　治徳	櫻井　　薫	佐藤　　亨	佐藤　裕二	塩田　　真	志賀　　博
島田　　淳	新谷　明一	菅沼　岳史	鈴木　哲也	隅田　由香	高津　匡樹	高宮紳一郎
瀧澤　朋章	武田　友孝	谷口　　尚	塚崎　弘明	月村　直樹	難波　錬久	野嶋　昌彦
萩原　重一	萩原　芳幸	波多野泰夫	馬場　一美	樋口　大輔	笛木　賢治	福永　秀樹
藤井　重壽	藤関　雅嗣	船登　雅彦	古屋　純一	細見　洋泰	堀田　宏巳	松田　哲治
松村　英雄	三浦　宏之	水口　俊介	谷田部　優	山下秀一郎	横山　正起	吉田　恵一
四ツ谷　護	若林　則幸					（65 名）

＜西関東支部＞

青山　　繁	井野　　智	大久保力廣	小川　　匠	木本　克彦	小久保裕司	小泉　政幸
近藤　　永	佐藤　洋平	重田　優子	鈴木　恭典	高橋　晃子	高山　慈子	玉井　久貴
玉置　勝司	中村　善治	服部慎太郎	濱野　奈穂	林　　幸男	星　　憲幸	三浦　英司
						（21 名）

＜東海支部＞

荒木　章純	石神　　元	伊藤　　裕	岩堀　正俊	岡　　俊男	小木　曽明	尾澤　昌悟
倉澤　郁文	黒岩　昭弘	佐久間重光	鷹股　哲也	竹市　卓郎	竹内　一夫	武部　　純
田中　清雄	土屋総一郎	中村　好徳	中本　哲自	橋本　和佳	服部　正巳	藤原　　周
星合　和基	蒔田　眞人	都尾　元宣	宮前　　真	村上　　弘	柳田　史城	山内　六男
山村　　理	吉岡　　文					（30 名）

＜関西支部＞

浅井　加雄	新井　是宣	池邉　一典	伊崎　克弥	石垣　尚一	岡崎　定司	岡田　政俊
奥田　啓之	恩地　良幸	柿本　和俊	柏木　宏介	川畑　直嗣	楠本　哲次	小正　　裕
権田　知也	佐古　好正	佐藤　正樹	末瀬　一彦	高橋　一也	髙橋　利士	龍田　光弘
田中　順子	田中　昌博	鳥井　克典	長島　　正	中野　　環	中村　隆志	西崎　　宏
額田　和門	馬場　俊輔	藤原　　到	前田　武志	前田　芳信	峯　　篤史	松田　謙一
瑞森　崇弘	宮内　修平	六人部慶彦	矢谷　博文	山賀　　保	山田　　裕	山本さつき
山本　雅章	吉峰　茂樹	若林　一道				

(45 名)

＜中国四国支部＞

安部倉　仁	池田　隆志	市川　哲雄	今井　　誠	河野　文昭	窪木　拓男	近藤　康弘
貞森　紳丞	白井　　肇	玉本　光弘	津賀　一弘	柄　　俊彦	友竹　偉則	永尾　　寛
中島啓一朗	二川　浩樹	西川　啓介	西川　悟郎	原　　哲也	堀　　祥二	前川　賢治
松香　芳三	松山　美和	皆木　省吾	山根　　進	吉川　峰加		

(26 名)

＜九州支部＞

有田　正博	安東　俊介	城戸　寛史	小柳　進祐	古谷野　潔	佐藤　博信	澤瀬　　隆
篠原　直幸	清水　博史	平　　曜輔	高橋　　裕	田口　則宏	築山　能大	都築　　尊
鳥巣　哲朗	中島　清一	中村　康司	西　　恭宏	西村　正宏	細川　隆司	牧平　清超
鱒見　進一	松浦　尚志	松下　恭之	南　　弘之	嶺崎　良人	村田比呂司	渡邊　郁哉

(28 名)

計　285 名

会　務　報　告

公益社団法人日本補綴歯科学会
平成 27 年度第 4 回臨時理事会 議事録（案）

Ⅰ．開催日時：平成 27 年 12 月 11 日（金）
16：00 ～ 16：30

Ⅱ．会場：公益社団法人日本補綴歯科学会事務局会議室
東京都港区新橋 5 丁目 13 番 5 号
新橋 MCV ビル 3 階
TEL 03-5733-4680

Ⅲ．理事現在数および定足数ならびに出席理事数およびその氏名（敬称略）
理事現在数　20 名
定足数　　11 名
出席理事数　17 名
出席した理事の氏名
松村英雄，市川哲雄，櫻井　薫，川良美佐雄（議事録作成者），志賀　博，大久保力廣，馬場一美，末瀬一彦，佐藤博信，木本克彦，鱒見進一，横山敦郎，大川周治，矢谷博文，南　弘之，小出　馨，都尾元宣

Ⅳ．監事現在数および出席監事氏名（敬称略）
監事現在数　2 名
出席した監事の氏名　小宮山彌太郎，二川浩樹

Ⅴ．陪席者氏名（敬称略）
理事長幹事　　小峰　太
総務幹事　　飯田　崇
事務局　　加藤路子，木村佳子

Ⅵ．議長の氏名（敬称略）
松村英雄

Ⅶ．議題
第 1 号議案　新入会員承認の件
第 2 号議案　基本財産の運用の件
第 3 号議案　優秀論文賞推薦委員会設置の件
第 4 号議案　学会特別功労賞推薦委員会設置の件
第 5 号議案　名誉会員推薦の件
第 6 号議案　新規認定研修機関承認の件
第 7 号議案　新規指導医承認の件
第 8 号議案　新規終身指導医承認の件
第 9 号議案　第 127 回学術大会の大会長選任の件
第10号議案　規程集改廃の件

Ⅷ．理事会の議事の経過の要領およびその結果
1）定足数の確認
定刻，理事長が議長席に着き開会を宣し，本理事会は定款第44条の規定に定める定足数を満たしており，適法に成立した旨を告げ，議題の審議に入った．

2）議案の審議状況および議決結果等
第 1 号議案　新入会員承認の件
議長の求めに応じ，川良常務理事から定款第 7 条の規定により，平成 27 年 7 月 24 日から平成 27 年 11 月 30 日までの正会員 24 名，準会員 6 名の入会者について別紙資料に基づき承認したい旨の提案がなされた．
審議の結果，原案通り出席理事全員一致にて承認した．

第 2 号議案　基本財産の運用の件
議長の求めに応じ，櫻井理事から定款第 49 条の規定により，別紙資料に基づき，基本財産として計上されている投資有価証券（20,132,000 円）が平成 27 年 12 月 20 日に満期が到来することに伴い，満期後の保管先について決定したい旨の説明がなされた．
審議の結果，満期後の保管先を第 341 回利付国庫債券とすることで出席理事全員一致にて承認した．

第 3 号議案　優秀論文賞推薦委員会設置の件
議長から，表彰制度規程第 3 条の規定により，優秀論文賞推薦委員会を設置したい旨の提案がなされた．
審議の結果，原案通り出席理事全員一致にて承認した．その後，市川哲雄理事，櫻井　薫理事，大久保力廣理事，水口俊介理事，馬場一美理事，大川周治理事を優秀論文賞推薦委員に任命することを出席理事全員一致にて承認した．

第 4 号議案　学会特別功労賞推薦委員会設置の件
議長から，表彰制度規程第 3 条の規定により，学会特別功労賞推薦委員会を設置したい旨の提案がなされた．
審議の結果，原案通り出席理事全員一致にて承認した．その後，櫻井　薫理事，市川哲雄理事，川良美佐雄理事，志賀　博理事，大久保力廣理事，大川周治理事を学会特別功労賞推薦委員に任命することを出席理事全員一致にて承認した．

第 5 号議案　名誉会員推薦の件
議長の求めに応じ，川良常務理事から別紙資料に基づき，名誉会員推薦規則第 4 条の規定により，関越支部の野村修一先生を名誉会員に推薦したい旨の提案がなされた．
審議の結果，原案通り出席理事全員一致にて承認した．

第 6 号議案　新規認定研修機関承認の件
議長の求めに応じ，横山理事から専門医制度規則

第5条の規定により，平成27年10月9日開催の平成27年度第2回専門医認定委員会において適格とされた1件の新規認定研修機関（甲）について別紙資料に基づき承認したい旨の説明がなされた．

審議の結果，原案通り出席理事全員一致にて承認した．

第7号議案　新規指導医承認の件

議長の求めに応じ，横山理事から専門医制度規則第9条の規定により，平成27年10月9日開催の平成27年度第2回専門医認定委員会において適格とされた12名の新規指導医について別紙資料に基づき承認したい旨の説明がなされた．

審議の結果，原案通り出席理事全員一致にて承認した．

第8号議案　新規終身指導医承認の件

議長の求めに応じ，横山理事から専門医制度施行細則第11条の規定により，平成27年10月9日開催の平成27年度第2回専門医認定委員会において適格とされた5名の新規終身指導医について別紙資料に基づき承認したい旨の説明がなされた．

審議の結果，原案通り出席理事全員一致にて承認した．

第9号議案　第127回学術大会の大会長選任の件

議長から，学術大会実施要項第2条の規定により，公益社団法人日本補綴歯科学会第127回学術大会の開催は皆木省吾代議員（岡山大）を大会長として開催予定としたい旨の提案がなされた．

審議の結果，原案通り出席理事全員一致にて承認した．

第10号議案　規程集改廃の件

議長の求めに応じ，大川理事から規程集における以下の規程の一部改正について別紙資料に基づき承認したい旨の説明がなされた．

表彰制度規程【一部改正】

表彰関連経費規則【一部改正】

経理処理規程【一部改正】

審議の結果，原案通り出席理事全員一致にて承認した．

報告事項

1）代表理事・業務執行理事の職務執行状況の報告の件

理事長，副理事長，常務理事からそれぞれ自己の職務の執行状況の報告がなされた．

以上をもって議事の審議等を終了したので，議長は16時30分閉会を宣し，解散した．

この議事録が正確であることを証するため，出席した理事長および監事が記名押印する．

平成27年12月11日

公益社団法人日本補綴歯科学会

議長　代表理事（理事長）松　村　英　雄　㊞

監事　小宮山　彌太郎　㊞

監事　二　川　浩　樹　㊞

会　務　報　告

公益社団法人日本補綴歯科学会
平成 27 年度第 2 回定時理事会議事録

Ⅰ．開催日時：平成 28 年 3 月 28 日（月）
13：00 ～ 15：55

Ⅱ．会場：公益社団法人日本補綴歯科学会会議室
東京都港区新橋 5 丁目 13 番 5 号
新橋 MCV ビル 3 階
TEL 03-5733-4680

Ⅲ．理事現在数および定足数ならびに出席理事数およびその氏名（敬称略）
理事現在数　20 名
定足数　　11 名
出席理事数　18 名
出席した理事の氏名
松村英雄，市川哲雄，櫻井　薫，川良美佐雄（議事録作成者），志賀　博，大久保力廣，水口俊介，馬場一美，末瀬一彦，佐藤博信，木本克彦，鱒見進一，横山敦郎，古谷野　潔，大川周治，矢谷博文，南　弘之，小出　馨

Ⅳ．監事現在数および出席監事氏名（敬称略）
監事現在数　2 名
出席した監事の氏名　小宮山彌太郎，二川浩樹

Ⅴ．陪席者氏名（敬称略）
理事長幹事　小峰　太
総務幹事　　飯田　崇
事務局　　若松俊雄，加藤路子，浦澤直哉，木村佳子
公認会計士　佐藤洋平

Ⅵ．議長の氏名（敬称略）
松村英雄

Ⅶ．議題
第 1 号議案　事務局職員の任免に関する件
第 2 号議案　平成 28 年度事業計画に関する件
第 3 号議案　平成 28 年度収支予算・資金調達及び設備投資の見込み書類に関する件
第 4 号議案　平成 27 年度補正予算書類に関する件
第 5 号議案　新入会員に関する件
第 6 号議案　2 年以上会費未納に伴う会員の除名に関する件
第 7 号議案　名誉会員推薦に関する件
第 8 号議案　平成 27 年度学会特別功労賞推薦に関する件
第 9 号議案　平成 27 年度優秀論文賞の受賞者推薦に関する件
第10号議案　規程集改正に関する件
第11号議案　若手研究者国際交流助成制度委員会委員および委員長委嘱に関する件
第12号議案　委員会幹事の解嘱および委嘱に関する件
報告事項
1）代表理事・業務執行理事の職務執行状況の報告の件
2）その他

Ⅷ．理事会の議事の経過の要領およびその結果
1）定足数の確認
定刻，理事長が議長席に着き開会を宣し，本理事会は定款第44条の規定に定める定足数を満たしており，適法に成立した旨を告げ，議題の審議に入った．
2）議案の審議状況および議決結果等
第 1 号議案　事務局職員の任免に関する件
議長から，定款第 38 条の規定により，平成 28 年 3 月 31 日付で加藤路子氏を事務局長から免じ，平成 28 年 4 月 1 日付で若松俊雄氏を事務局長に任ずる旨の提案がなされた．
審議の結果，原案通り出席理事全員一致にて承認した．
第 2 号議案　平成 28 年度事業計画に関する件
議長の求めに応じ，川良常務理事から定款第 53 条の規定により，平成 28 年度事業計画について別紙資料に基づき詳細説明がなされた．
審議の結果，原案通り出席理事全員一致にて承認した．
第 3 号議案　平成 28 年度収支予算・資金調達及び設備投資の見込み書類に関する件
議長の求めに応じ，櫻井副理事長から定款第 53 条の規定により，平成 28 年度収支予算について別紙資料に基づき詳細説明がなされた．
審議の結果，原案通り出席理事全員一致にて承認した．
第 4 号議案　平成 27 年度補正予算書類に関する件
議長の求めに応じ，櫻井副理事長から経理処理規程第 21 条の規定により，別紙資料に基づき，平成 27 年度補正予算における補正内容ならびに海外学術交流基金および専門医制度整備基金への各 1,000 万円の資金の繰入について詳細説明がなされた．
審議の結果，原案通り出席理事全員一致にて承認した．
第 5 号議案　新入会員に関する件
議長の求めに応じ，川良常務理事から定款第 7 条の規定により，平成 27 年 12 月 1 日から平成 28 年

3月18日までの正会員37名，準会員18名の入会者および賛助会員1社について別紙資料に基づき承認したい旨の提案がなされた．

審議の結果，原案通り出席理事全員一致にて承認した．

第6号議案　2年以上会費未納に伴う会員の除名に関する件

議長の求めに応じ，川良常務理事から別紙資料に基づき，定款11条の「会費を継続して2年以上滞納したとき，総会の決議を経て，理事長が除名することができる．」に従い，2年以上滞納している会員に対して，既に文書による通告を行っており，平成27年度末（平成28年3月31日）までに会費納入が行われない場合は，平成28年5月30日付けで除名する旨の提案がなされた．

審議の結果，原案通り出席理事全員一致にて承認した．

第7号議案　名誉会員推薦に関する件

議長の求めに応じ，川良常務理事から別紙資料に基づき，名誉会員推薦規則第4条の規定により，東京支部の石上惠一会員，東海支部推薦の太田　功会員を名誉会員に推薦したい旨の提案がなされた．

審議の結果，原案通り出席理事全員一致にて承認した．

第8号議案　平成27年度学会特別功労賞推薦に関する件

議長の求めに応じ，櫻井副理事長から表彰制度規程第14条の規定により，平成27年度公益社団法人日本補綴歯科学会特別功労賞の推薦について，別紙資料を基に，以下に記載する1名及び1社の推薦があり，審議したい旨の提案がなされた．

審議の結果，原案通り出席理事全員一致にて承認した．

また，学会特別功労賞の授賞式は，第125回学術大会時に執り行うことが確認された．

新谷明喜　名誉会員

マニー株式会社

第9号議案　平成27年度優秀論文賞の受賞者推薦に関する件

議長の求めに応じ，市川副理事長から表彰制度規程第23条の規定により，優秀論文賞等の受賞者の推薦について，別紙資料を基に，以下に記載する学会論文賞候補者3名，中堅優秀論文賞候補者1名，特定推進研究優秀論文賞1名，奨励論文賞候補者3名（敬称略）の推薦があり，審議したい旨の提案がなされた．

審議の結果，原案通り出席理事全員一致にて承認した．

また，優秀論文賞等の授賞式は，第125回学術大会時に執り行うことが確認された．

学会論文賞

櫻井　薫（東歯大）

山田将博（東北大）

川良美佐雄（日大松戸）

中堅優秀論文賞

村上　格（鹿児島大）

特定推進研究優秀論文賞

末永華子（東北大）

奨励論文賞

大城和可奈（九州大）

佐藤雅介（明海大）

久留島悠子（大阪大）

第10号議案　規程集改正に関する件

議長の求めに応じ，大川理事から規程集における以下の規程の改正について別紙資料に基づき承認したい旨の説明がなされた．

公益社団法人日本補綴歯科学会　表彰制度規程【一部改正】

公益社団法人日本補綴歯科学会　優秀論文賞選考規則【一部改正】

公益社団法人日本補綴歯科学会　表彰関連経費規則【一部改正】

審議の結果，表彰制度規程，優秀論文賞選考規則は出席理事全員一致にて承認した．表彰関連経費規則はさらに検討を要するため審議継続となった．

第11号議案　若手研究者国際交流助成制度委員会委員および委員長委嘱に関する件

議長から，若手研究者国際交流助成委員会規程第3条により，江草　宏代議員（東北大），小野高裕代議員（新潟大），津賀一弘代議員（広島大），松香芳三代議員（徳島大）を若手研究者国際交流助成制度委員会委員に，矢谷博文理事を若手研究者国際交流助成制度委員会委員長に委嘱したい旨の説明がなされた．

審議の結果，原案通り出席理事全員一致にて承認した．

第12号議案　委員会幹事の解嘱および委嘱に関する件

議長の求めに応じ，馬場理事からJPR編集委員会規程第3条の規定により，JPR編集委員会幹事について，現幹事の解嘱および別紙資料に基づき福西美弥会員を後任の幹事として委嘱したい旨の説明がなされた．

審議の結果，原案通り出席理事全員一致にて承認した．

報告事項

1）代表理事・業務執行理事の職務執行状況の報告の件

理事長，副理事長，常務理事からそれぞれ自己の職務の執行状況の報告がなされた．櫻井副理事長から寄附金取扱規則第6条の規定により，別紙資料を基に，7件の寄附金があり理事長が承認した旨の説明がなされた．松村理事長から定款第10条の規定により，別紙資料を基に，パナソニック ヘルスケア株式会社が平成28年3月末日をもって賛助会員を退会する旨について報告がなされた．

2）その他

議長の求めに応じ，大川理事から規程集における以下の規程の一部改正について報告がなされた．

公益社団法人日本補綴歯科学会　東北・北海道支部規則【一部改正】

公益社団法人日本補綴歯科学会　関越支部規則【一部改正】

公益社団法人日本補綴歯科学会　西関東支部規則【一部改正】

公益社団法人日本補綴歯科学会　関西支部規則【一部改正】

公益社団法人日本補綴歯科学会　九州支部規則【一部改正】

以上をもって議事の審議等を終了したので，議長は15時55分閉会を宣し，解散した．

この議事録が正確であることを証するため，出席した理事および監事が記名押印する．

平成28年3月28日
公益社団法人日本補綴歯科学会
議長　代表理事（理事長）松　村　英　雄　㊞
監事　小宮山　彌太郎　㊞
監事　二　川　浩　樹　㊞

会　務　報　告

公益社団法人日本補綴歯科学会
平成 28 年度第 1 回定時理事会議事録

Ⅰ．開催日時：平成 28 年 5 月 30 日（月）
12：10 ～ 13：15

Ⅱ．会場：公益社団法人日本補綴歯科学会会議室
東京都港区新橋 5 丁目 13 番 5 号
新橋 MCV ビル 3 階
TEL 03-5733-4680

Ⅲ．理事現在数および定足数ならびに出席理事数およびその氏名（敬称略）
理事現在数　20 名
定足数　　11 名
出席理事数　19 名
出席した理事の氏名
松村英雄，市川哲雄，櫻井　薫，川良美佐雄（議事録作成者），志賀　博，大久保力廣，水口俊介，馬場一美，末瀬一彦，佐藤博信，木本克彦，鱒見進一，横山敦郎，古谷野　潔，大川周治，矢谷博文，南　弘之，小出　馨，都尾元宣

Ⅳ．監事現在数および出席監事氏名（敬称略）
監事現在数　2 名
出席した監事の氏名　小宮山彌太郎，二川浩樹

Ⅴ．陪席者氏名（敬称略）
理事長幹事　小峰　太
総務幹事　　飯田　崇
事務局　　若松俊雄，加藤路子，浦澤直哉，木村佳子
公認会計士　佐藤洋平

Ⅵ．議長の氏名（敬称略）
松村英雄

Ⅶ．議題
第 1 号議案　平成 27 年度事業報告の承認に関する件
第 2 号議案　平成 27 年度計算書類（貸借対照表および正味財産増減計算書）および附属明細書ならびに財産目録の承認に関する件
第 3 号議案　平成 28 年度定時総会（6 月 25 日開催）召集に関する件
第 4 号議案　新入会員に関する件
第 5 号議案　2 年以上会費未納に伴う会員の除名に関する件
第 6 号議案　名誉会員推薦に関する件
第 7 号議案　新規指導医承認に関する件
第 8 号議案　新規終身指導医承認に関する件
第 9 号議案　専門医認定委員会の支部選出委員承認に関する件
第10号議案　次々期理事長候補適任者選挙管理委員会委員長選出に関する件
第11号議案　規程集の改正に関する件
第12号議案　委員会幹事の委嘱に関する件
報告事項
1）代表理事および業務執行理事の職務執行状況の報告の件
2）その他

Ⅷ．理事会の議事の経過の要領およびその結果
1）定足数の確認
定刻，理事長が議長席に着き開会を宣し，本理事会は定款第44条の規定に定める定足数を満たしており，適法に成立した旨を告げ，議題の審議に入った．
2）議案の審議状況および議決結果等
第 1 号議案　平成 27 年度事業報告の承認に関する件
議長の求めに応じ，川良常務理事から平成 27 年度事業報告について別紙資料に基づき詳細説明がなされた．これを受けて小宮山監事，二川監事から，この事業報告には前年度の状況が正確に記載されており適正である旨の説明がなされた．
審議の結果，原案通り出席理事全員一致にて承認した．
第 2 号議案　平成 27 年度計算書類（貸借対照表および正味財産増減計算書）および附属明細書ならびに財産目録の承認に関する件
議長の求めに応じ，櫻井常務理事から平成 27 年度計算書類（貸借対照表および正味財産増減計算書）および附属明細書ならびに財産目録について別紙資料に基づき詳細説明がなされた．これを受けて小宮山監事，二川監事から，この計算書類，附属明細書ならびに財産目録には前年度の状況が正確に記載されており適正である旨の説明がなされた．
審議の結果，原案通り出席理事全員一致にて承認した．
第 3 号議案　平成 28 年度定時総会（6 月 25 日開催）召集に関する件
議長の求めに応じ，川良常務理事から別紙資料に基づき，平成 28 年度定時総会を次の通り開催したい旨が提案された．
審議の結果，原案通り出席理事全員一致にて承認した．
（1）開催日時：平成 27 年 6 月 25 日（土）
15：00 ～ 16：00

(2) 開催場所：日本大学歯学部　4号館4階
第4講堂

(3) 議案

第1号議案　平成27年度計算書類等の承認に関する件

第2号議案　名誉会員推薦に関する件

第3号議案　2年以上会費未納に伴う会員の除名に関する件

第4号議案　第127回学術大会大会長選任の件

第4号議案　新入会員に関する件

議長の求めに応じ，川良常務理事から定款第7条の規定により，平成28年3月19日から平成28年5月25日までの正会員166名，準会員6名の入会者について別紙資料に基づき承認したい旨の提案がなされた．

審議の結果，原案通り出席理事全員一致にて承認した．

第5号議案　2年以上会費未納に伴う会員の除名に関する件

議長の求めに応じ，川良常務理事から別紙資料に基づき，定款11条の「会費を継続して2年以上滞納したとき，総会の決議を経て，理事長が除名することができる．」に従い，2年以上滞納している会員85名に対して，平成28年6月25日付けで除名する旨の提案がなされた．

審議の結果，原案通り出席理事全員一致にて承認した．

第6号議案　名誉会員推薦に関する件

議長の求めに応じ，川良常務理事から別紙資料に基づき，名誉会員推薦規則第4条の規定により，東北・北海道支部の赤川安正代議員を名誉会員に推薦したい旨の提案がなされた．

審議の結果，原案通り出席理事全員一致にて承認した．

第7号議案　新規指導医承認に関する件

議長の求めに応じ，横山理事から専門医制度規則第9条の規定により，平成28年4月19日開催の平成28年度第1回専門医認定委員会において適格とされた4名の新規指導医について別紙資料に基づき承認したい旨の説明がなされた．

審議の結果，原案通り出席理事全員一致にて承認した．

第8号議案　新規終身指導医承認に関する件

議長の求めに応じ，横山理事から専門医制度施行細則第11条の規定により，平成28年4月19日開催の平成28年度第1回専門医認定委員会，専門医認定委員会（第3回メール会議）において適格とされた2名の新規終身指導医について別紙資料に基づき承認したい旨の説明がなされた．

審議の結果，原案通り出席理事全員一致にて承認した．

第9号議案　専門医認定委員会の支部選出委員承認に関する件

議長の求めに応じ，横山理事から専門医認定委員会規程第3条の規定により，別紙資料を基に，専門医認定委員会支部選出委員として，下記の通り各支部から推薦された平成28年度支部選出専門医制度委員会委員を承認したい旨の提案がなされた．

東北・北海道支部　金村清孝
東海支部　新村弘子
中国・四国支部　大倉一夫
九州支部　高橋　裕

審議の結果，原案通り出席理事全員一致にて承認した．

第10号議案　次々期理事長候補適任者選挙管理委員会委員長選出に関する件

議長から，別紙資料に基づき，次々期理事長候補適任者選挙管理委員会委員長に小見山　道代議員を推挙したい旨，次々期理事長候補適任者選挙の実施，および選挙管理委員会委員の人選は選挙管理委員長に一任願いたい旨の提案がなされた．

審議の結果，原案通り出席理事全員一致にて承認した．

第11号議案　規程集改正に関する件

議長の求めに応じ，大川理事から規程集における以下の規程の改正について別紙資料に基づき承認したい旨の説明がなされた．

公益社団法人 日本補綴歯科学会 若手研究者国際交流助成制度委員会規程【一部改正】

審議の結果，原案通り出席理事全員一致にて承認した．

第12号議案　委員会幹事の委嘱に関する件

議長の求めに応じ，矢谷理事から若手研究者国際交流助成制度委員会規程第3条の規定により，若手研究者国際交流助成制度委員会幹事について石垣尚一代議員を幹事として委嘱したい旨の説明がなされた．

審議の結果，原案通り出席理事全員一致にて承認した．

報告事項

1）代表理事および業務執行理事の職務執行状況の報告の件

理事長，副理事長および常務理事からそれぞれ自己の職務の執行状況の報告がなされた．

2）その他

以上をもって議事の審議等を終了したので，議長は 13 時 15 分閉会を宣し，解散した．

この議事録が正確であることを証するため，出席した理事および監事が記名押印する．

平成 28 年 5 月 30 日
公益社団法人日本補綴歯科学会
議長　代表理事（理事長）松　村　英　雄　㊞
監事　小宮山　彌太郎　㊞
監事　二　川　浩　樹　㊞

会　務　報　告

公益社団法人日本補綴歯科学会
平成 28 年度第 1 回臨時理事会議事録

Ⅰ．開催日時：平成 28 年 6 月 25 日（土）
13：00 ～ 13：25

Ⅱ．開催場所：日本大学歯学部　4 号館 5 階　大会議室
東京都千代田区神田駿河台 1-8-13
TEL 03-3219-8145

Ⅲ．理事現在数および定足数ならびに出席理事数およびその氏名（敬称略）
理事現在数　20 名
定足数　　11 名
出席理事数　12 名
出席した理事の氏名
松村英雄，市川哲雄，櫻井　薫，川良美佐雄（議事録作成者），志賀　博，大久保力廣，末瀬一彦，佐藤博信，木本克彦，鱒見進一，大川周治，都尾元宣

Ⅳ．監事現在数および出席監事氏名（敬称略）
監事現在数　2 名
出席した監事の氏名　二川浩樹

Ⅴ．陪席者氏名（敬称略）
理事長幹事　　小峰　太
総務幹事　　飯田　崇
事務局　　若松俊雄，浦澤直哉，木村佳子

Ⅵ．議長の氏名（敬称略）
松村英雄

Ⅶ．議題
第 1 号議案　公益法人の事業報告等に関する定期提出書類承認に関する件
報告事項
1）代表理事および業務執行理事の職務執行状況の報告の件
2）その他

Ⅷ．理事会の議事の経過の要領およびその結果
1）定足数の確認
定刻，理事長が議長席に着き開会を宣し，本理事会は定款第44条の規定に定める定足数を満たしており，適法に成立した旨を告げ，議題の審議に入った．
2）議案の審議状況および議決結果等
第 1 号議案　公益法人の事業報告等に関する定期提出書類承認に関する件
議長から，公益法人の事業報告等に関する定期提出書類に関する件について，別紙資料に基づき，各項目に関する説明がなされた．当該書類の提出につき承認願いたい旨，および軽微な文言の修正等については事務局に一任願いたい旨が諮られた．
審議の結果，原案通り出席理事全員一致にて承認した．
報告事項
1）代表理事および業務執行理事の職務執行状況の報告の件
理事長，副理事長および常務理事からそれぞれ自己の職務の執行状況の報告がなされた．
2）その他

以上をもって議事の審議等を終了したので，議長は 13 時 25 分閉会を宣し，解散した．
この議事録が正確であることを証するため，出席した理事および監事が記名押印する．

平成 28 年 6 月 25 日
公益社団法人日本補綴歯科学会
議長　代表理事（理事長）松　村　英　雄　㊞
監事　二　川　浩　樹　㊞